

# 電子カルテ導入に伴い、生体認証を検討 精度の高いDDSの指紋認証で患者データを確実に保護



導入製品： Finger Authentication  
**EVE FA**

小牧市民病院が電子カルテ開始に伴い、生体認証を導入されたのは2006年。それまではオーダリングシステムだったため、認証自体初めての導入でした。

当時はICカードやID・パスワードを採用している病院が多く、その管理の難しさ、負担が問題となっており、生体認証が有力候補に。数々の機器を検討した結果、精度の高さ、コストパフォーマンス、そしてソフトウェアのログオンが設定可能であることなどが決め手となり、DDSの「周波数解析法」を採用、UBFによる指紋認証を導入されました。

2013年にはPCのバージョンアップとともに新システムのEVE FAによるハイブリッド指紋認証方式へ移行。読み取りの精度が飛躍的に向上したこともあり、さらにストレスの少ない認証を実現しています。



■小牧市民病院  
医療情報システム室長 上級医療情報技師 近藤泰三氏



## User information

### 小牧市民病院

愛知県小牧市常普請1-20

1963年開設。愛知県小牧市にある市立の医療機関。尾張北部医療圏で唯一救命救急センターを持つ3次救急病院であり、名古屋飛行場にも対応している。がん診療連携拠点病院として、がん診療相談支援室や緩和ケア病棟も設置。2012年には大学病院本院に次ぐ高次機能病院として「DPC医療機関群II群」に認定され、高度で質の高い医療の提供に努めている。